九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

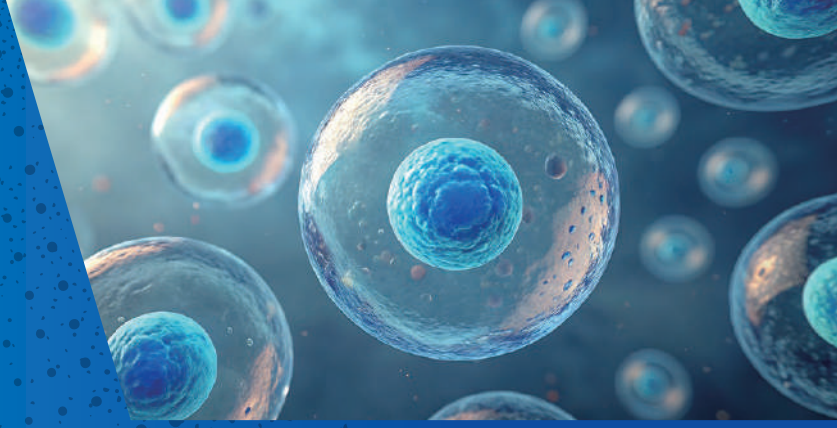
高校生のための

九州大学

2026

Department of Biomedical Science,
Kyushu University School of
Medicine

医学部
生命科学科紹介



「医学部において
生命科学を学ぶという選択」

九州大学医学部生命科学科長
新納　宏昭

九州大学医学部生命科学科は、平成19年（2007年）に設立され、医学の素養を持った生命科学者の育成を目指しています。初期の卒業生たちは、大学院を修了し学位を取得した後、国内外の大学や研究所で研究職に就き、現在生命科学の最前線で活躍しています。

生命科学とは、広範な領域を対象とし、基礎的な内容から応用に近い内容まで多岐にわたります。現在では、理系のほぼ全学部に生命科学関連の学科が存在しています。では、医学部にある当学科の特徴は何でしょうか？それは、ヒトという生物種に的を絞り、その正常な状態ならびに病的な状態について、多角的かつ系統的に学ぶという点にあります。当学科の学生は、将来医師になるための医学科の学生と同じカリキュラムで、基礎医学としてのヒトの生命科学を徹底的に学びます。これにより、他の学部では修得が困難な「ヒトを個体として捉える独特のセンス」を育むことができます。また、当学科の大きな特徴として、早期から「最先端の生命科学の研究現場」を経験する機会が用意されています。この2つの教育方針のもとで、医学の素養と実践的な研究能力を兼ね備えた人材を育成し、基礎医学の進歩に貢献することが当学科の使命です。

基礎医学は、生命科学や疾患のメカニズムを解明することで、未来の医療の基盤を築く学問です。生成AIをはじめとする人工知能やゲノム編集・遺伝子療法のような革新的な手法を取り入れることで、基礎医学はさらなる飛躍を遂げています。すなわち、基礎医学は将来的に何億人もの患者を救う可能性を秘めています。さらに、生命科学による本質的な発見は、医学的な応用や医療に限定されず、世界観を変える重要なインパクトを持つものです。興味と学修意欲を持った皆さんが、最先端の技術と生命科学を融合させるこの学問への入学を希望し、互いに刺激し合いながら未来を切り拓いていくことを願っています。

白石晃明基礎医学研究基金奨学金の設立

九州大学医学部では、故白石晃明先生（昭和24年度医学部卒業）のご遺族からの寄附により、医学研究院における未来に繋がる基礎医学の活性化に資するため、白石晃明基礎医学研究基金を設立しました。

そして、基礎医学研究を志す学生の修学と研究活動を支援するため、令和6年度入学者より、成績優秀者に対して白石晃明基礎医学研究基金奨学金を支給しています。

- 給 付 額　550,000円/年額（授業料相当額）
- 給付人数　6名以内
- 給付期間　最大4年間（継続申請必要）

※その他、受給要件・選考方法・募集期間等の詳細については、ホームページ等でご案内いたします。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示しますウェブサイトをご覧ください。

生命科学科ホームページ
https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/

受験生向けサイト
https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/

沿　　革／History －おもな年表－

明治 36 年　4月　1日	京都帝国大学福岡医科大学開設
〃　44 年　4月　1日	京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
大正　8 年　4月　1日	九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
昭和　3 年 10 月 24 日	創立 25 周年記念祝典挙行
〃　22 年 10 月　1日	九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
〃　28 年　5月　3日	医学部創立 50 周年記念式典挙行
〃　30 年　4月　1日	九州大学大学院医学研究科設置
〃　48 年 11 月 24 日	創立 70 周年記念式典挙行
〃　53 年 11 月 25 日	創立 75 周年記念式典挙行
〃　58 年 11 月　5日	創立 80 周年記念式典挙行
〃　61 年　4月　1日	医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
平成 12 年　4月　1日	医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
〃　15 年　3月　8日	創立 100 周年記念式典挙行
〃　15 年　4月　1日	医学研究院の８部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の５部門に、23 講座を 11 講座に再編
	大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された
	医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置
	大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった
	学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
〃　16 年　4月　1日	九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
〃　19 年　4月　1日	医学部に生命科学科を設置
	大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
〃　20 年　4月　1日	大学院医学系学府博士課程を１専攻に再編
〃　21 年　4月　1日	大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置
〃　24 年　4月　1日	医学研究院に応用幹細胞医科学部門設置
	同部門に応用幹細胞医科学講座設置
令和　5 年 12 月 16 日	医学部創立 120 周年式典挙行

医学部生命科学科案内

医学部生命科学科では、ヒトならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し、世界に向けて輩出することを目標としています。そのために、本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち、未知の領域を探求する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に、国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け、意欲的に取り組む学生を歓迎します。

教育理念（教育理念・目標、育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は、最初に生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後に、生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」、「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」、「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」、「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また、必要に応じて学内の他部局の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き、個々の学生からの相談に対応します。

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では、1、2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに、種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに、高年次においては分子細胞生物学、高次機能制御学、生体情報科学、臨床医学等の講義（下記のキーワードを参照のこと）を通じ、最新の研究に関する知識を修得します。また、3年次に設けられた研究室配属ならびに4年次に取組む生命科学特別研究では、希望する研究室に配属され、教員の個別指導のもとに研究を行います。生命科学特別研究では、学生一人ひとりにテーマを設定し、取組んだ成果をまとめて卒業論文を作成しますが、この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけることができます。

国際的に活躍する人材を養成するためには、高い英語力が不可欠です。そこで、英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく、コミュニケーション能力の修得に向け、指導を行います。

1. **分子細胞生物学**：
   生化学、細胞生物学、ゲノム医科学、構造生物学、微生物学
2. **高次機能制御学**：
   免疫学、分子薬理学、脳・神経機能学、分子病理学、予防医学、分子疫学、発生再生医学、遺伝子・細胞療法学
3. **生体情報科学**：
   情報生物学、遺伝情報解析学
4. **臨床医学**：
   脳神経・運動器概論、循環器概論、呼吸器・造血器概論、腎・泌尿生殖器概論、周産期・成長発達医学概論、アレルギー・膠原病・感染症概論、消化器概論、心身医学・精神医学概論、内分泌・代謝・老化概論、感覚器・皮膚概論

医学部生命科学科 アドミッションポリシー

求める学生像

生命科学科では以下の学生を求める。

ヒトを含む様々な生物の生命現象に興味を持ち、生命医科学関連領域の勉学と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求める。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため、基礎的講義を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備している。このような講義ならびに研究内容を理解するには、高校において理系科目（数学、理科〔生物、化学、物理〕）の履修を通じ、自然科学の基礎知識を習得するとともに、文系科目（国語、英語、社会）も幅広く履修することが望まれる。また、論理的な思考に基づいて、口頭および文章で論理的な説明を行う能力を備えていることが望まれる。

求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能：

高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて、生命医科学研究における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力：

論理的・多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。

生命医科学に関する知識を習得し、研究に応用するための努力を惜しまない姿勢。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：

ヒトおよびヒトに関係する生物が示す生命現象への興味、基礎医学研究への興味、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する姿勢。周囲と協調して生命医科学研究を創造・発展しようとする意欲。

入学者選抜方法

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力などの能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 個別面接

医学部生命科学科 ディプロマ･ポリシー

教育の目的

医学部医学科は、医学に関する知識･技術の教育を通して、医の倫理に徹し、旺盛な探究心を有する医師および医科学研究者医学部生命科学科は、医学の素養を備えた生命科学者として将来の基礎医学研究を担う人材の育成を目的とし、本学科所定の課程を修め、下記の学修目標を達成した者に、学士（生命医科学）を授与する。

参照基準

医学教育モデル･コア･カリキュラム　国際認証評価基準

- https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryou/mext_00005.html
- https://www.jacme.or.jp/

学修目標

A. 主体的な学び

A-1. 主体的な学び

- 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的･批判的に吟味･検討することができる。

A-2. 協働

- 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。

B. 知識･理解

- 生体の構造と機能の基本原理を分子レベルから個体レベルに亘って理解し、説明できる。
- 様々な疾病を恒常性維持の仕組みの破綻と関連づけて理解し、説明できる。
- 個体の反応と病因･病態について理解し、説明できる。
- 生命現象や疾患の解明に必要な研究について理解し、説明できる。

C. 能力

C-1. 適用･分析（知識･理解の応用）

- 英語をはじめ母国語以外の言語で生命科学を理解し、自らの考えを表現できる。
- 生命の構造と機能の理解に基づき、生命現象を解析し、その結果を解釈できる。
- 個体の反応と病因･病態を解析し、その結果を解釈することができる。
- 生命医科学分野の研究課題を設定し、解決のために実験等を計画し、実行できる。
- 生命医科学領域の研究に必要な機器やソフトウェアを正しく操作できる。

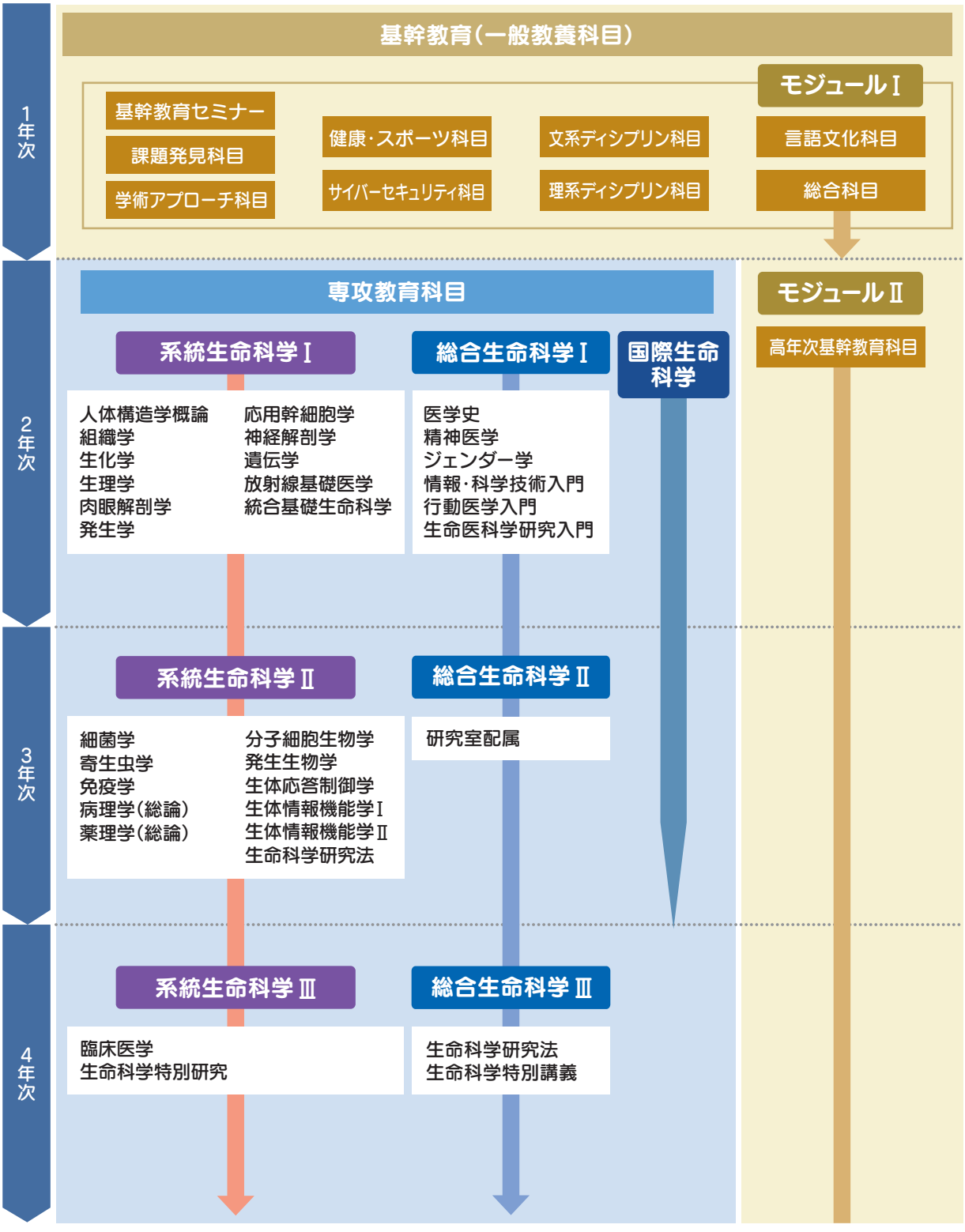
C-2. 評価･創造（新しい知見の創造）

- 生命医科学分野の論文やプレゼンテーションを理解し、批判的な考察や討論を通して新しい問題の設定ができる。

D. 実践

- 研究を通して生命医科学分野の発展に貢献しようとする意欲を持つことができる。
- 自らが持つ知識と生命医科学分野に関する知識と技術を広く社会に還元しようとすることができる。
- 生命医科学研究の発展に寄与するために、絶えず自らを省察し、周囲と協調しながら生涯にわたって学び続けることができる。

カリキュラム



※ユニット名は変更になることがあります。

学　　生／Students

(1)　学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医　学　部
School of Medicine

（令和8年5月1日現在）
As of May 1st, 2026

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医学科 Department of Medicine	定　員 Enrollment Limit	105	105	105	105	110	110	640
	在籍学生数 Present Number	114 (20)	117 (37)	117 (26)	113 (28)	105 (34)	117 (27)	683 (172)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定　員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	16 (8)	12 (8)	21 (13)	14 (6)			63 (35)
保健学科 Department of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	134	134	134	134			536
	在籍学生数 Present Number	143 (110)	136 (103)	133 (109)	155 (121)			567 (443)
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	251	251	251	251	110	110	1,224
	在籍学生数 Present Number	273	265	271	282	105	117	1,313

Figures in parentheses indicate the number of female students.

＊(　)内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)
Graduate School(Master's Course)

（令和8年5月1日現在）
As of May 1st, 2026

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	32	30	62
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	27	27	54
	在籍学生数 Present Number	44	34	78
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	47	47	94
	在籍学生数 Present Number	76	64	140

大学院(専門職学位課程)
Graduate School(Master's Course)

（令和8年5月1日現在）
As of May 1st, 2026

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営･管理学専攻 Health Care Administration and Management	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	16	22	38
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	16	22	38

大学院（博士課程）
Graduate School（Doctor's Course）

（令和8年5月1日現在）
As of May 1st, 2026

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
医学専攻 Department of Medical Sciences	定　員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	127	134	113	149	523
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	5	10	21	—	36
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	132	144	134	149	559

＊保健学専攻は博士後期課程

（2）　学部卒業生数　Number of Graduates

（令和8年5月1日現在）
As of May 1st, 2026

		令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	平成3年7月1日以降の卒業者数（累計） Total（1991.7.1～2026.3.31）
医学科 Department of Medicine		120	100	114	3,684
生命科学科 Department of Biomedical Science		10	16	7	193
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	65	65	69	1,398
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	33	30	28	678
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	34	27	29	685
	小計 Total	132	122	126	2,761
計 Total		262	238	247	6,638

＊医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002, The first graduating class was in March, 2007

医学部（医学士）卒業生

学部（旧制）累計 ―― 4,766名
School of Medicine（Old system）

学部（新制　昭和24年以降入学～平成3年6月30日卒業）累計 3,858名
School of Medicine（New system　1949～1991.6.30）

医学専門部累計 ―― 838名
Medical College

令和9年度入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、配点等）

入学定員：12名　一般入試（前期日程12名）

（1）大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国　語	地理・歴史	公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	25	－	475
個別学力検査	－	－		250	250	200	－	100	800
計	100	50		350	350	300	25	100	1,275

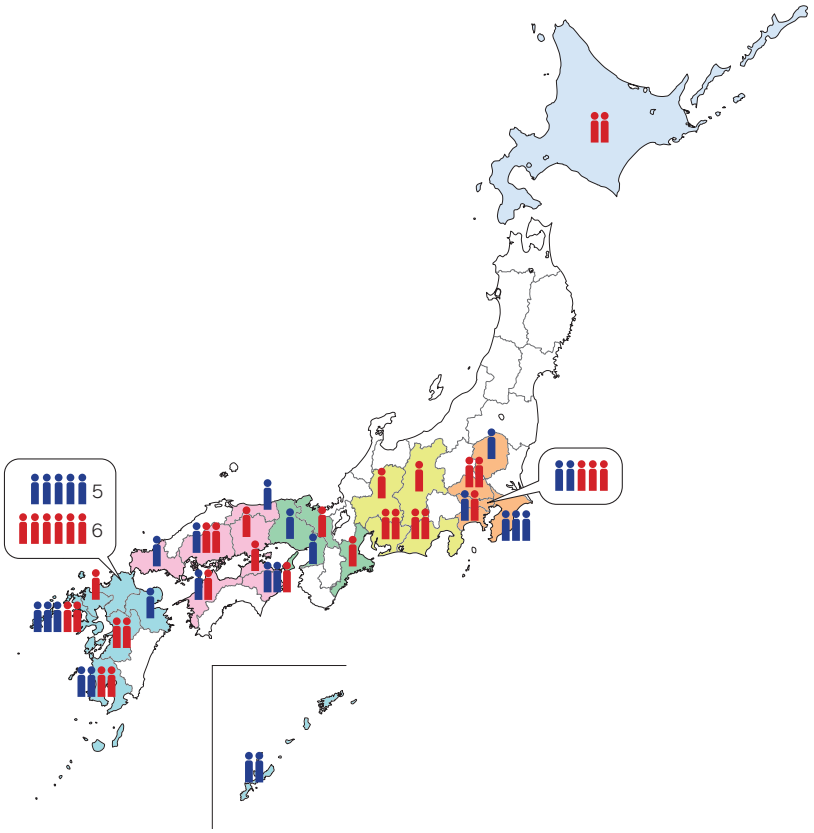
（2）個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数　学	理　科	外国語	面　接
科　目	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学C 6科目	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 2科目選択	英語 英語コミュニケーションⅠ,Ⅱ,Ⅲ 論理・表現Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 1科目	
配　点	250（150分）	250（150分）	200（120分）	100

出身高校所在地別　在学生の分布

生命科学科在学生の出身地は、下図に示すように小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。



		1年生		2年生		3年生		4年生		計
		男　性	女　性	男　性	女　性	男　性	女　性	男　性	女　性	
北海道	北 海 道				1		1			2
関　東	栃 木 県					1				1
	埼 玉 県						1		1	2
	千 葉 県	2				1				3
	東 京 都					1	2	1	1	5
	神奈川県			1	1					2
中　部	長 野 県		1							1
	岐 阜 県		1							1
	静 岡 県				2					2
	愛 知 県						1		1	2
近　畿	三 重 県						1			1
	京 都 府		1							1
	大 阪 府					1				1
	兵 庫 県			1						1
中　国	鳥 取 県					1				1
	岡 山 県						1			1
	広 島 県	1	1		1					3
	山 口 県	1								1
四　国	徳 島 県	2					1			3
	香 川 県								1	1
	愛 媛 県					1			1	2
九　州	福 岡 県		1	1	1	1	3	3	1	11
	佐 賀 県						1			1
	長 崎 県	1	1		1			2		5
	熊 本 県		1				1			2
	大 分 県	1								1
	鹿児島県		1	1	1	1				4
	沖 縄 県							2		2
計		8	8	4	8	8	13	8	6	63
		16		12		21		14		

キャンパスカレンダー

4月

入学式
新入生オリエンテーション

入学式

新入生オリエンテーション

5月

教職員との懇親会

6月

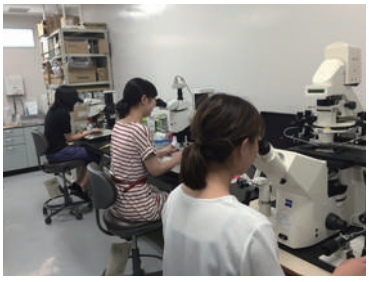
前期研究室配属（3年）

教職員との懇親会

7月

8月

夏期休暇
オープンキャンパス

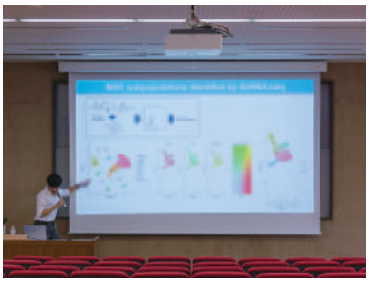


研究室配属

9月

10月

国際生命科学Ⅱ:
英語によるプレゼンテーション発表（3年）
後期研究室配属（3年）



国際生命科学Ⅱ:
英語によるプレゼンテーション発表

11月

九大祭

九大祭

12月

1月

2月

卒業研究発表会（4年）

卒業研究発表会

3月

卒業式（4年）

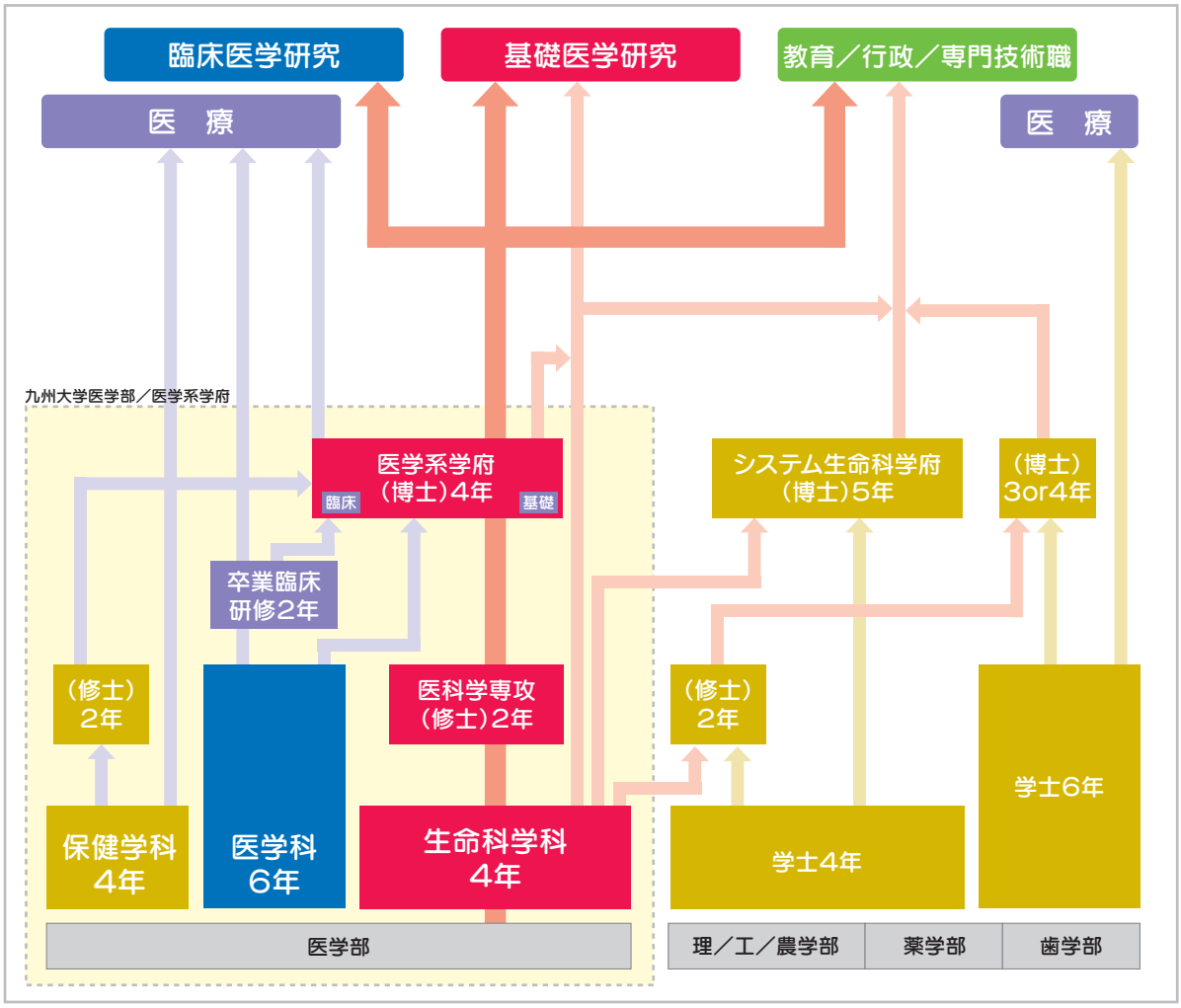
卒業式

卒業生の進路

生命科学科の卒業生の多くは、本学科で経験した研究室での研究を発展するべく、大学院修士課程に進学しています。

進　路	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月
九州大学大学院医学系学府	8	9	9	11	6
九州大学大学院システム生命科学府	1			1	
他大学大学院	2	3		1	
その他（就職等）	1		1	3	1

進路の系統図



先輩からのメッセージ　令和8年7月作成

3年　坂本 瑞稀

こんにちは。生命科学科18期、3年生の坂本瑞稀です。

今回は、私が生命科学科を選んでよかったと感じていることを、実際の大学生活を交えながらお伝えしたいと思います。

生命科学科では、医学科の学生と同じ授業を受け、医学の基礎から応用まで幅広く深い知識を学ぶことができます。また、研究室に所属しやすい環境が整っており、早い段階から研究に触れる機会が設けられています。そして、人数が少ない分、共に学び、悩みを共有し、支え合える仲間が集まっています。こうした生命科学科の特徴に共通して感じる最大の魅力は「人との出会い」です。

クラスや研究室での出会いは、自分にはなかった価値観や考え方を与え、視野を大きく広げてくれます。特に、研究室では教授や准教授の先生方と接する中で、研究への姿勢や考え方を学ぶことができ、研究の世界を自分なりに理解できるようになってきました。

また、留学やインターンシップを通して研究室に来ていた海外の大学生と出会い、仲良くなったことも大きな経験です。今年の春には、その友人のいる国を訪れ、一緒に海外の研究室を見学しました。そこで目にした研究環境や研究者の姿勢は圧倒されるものばかりで、憧れだけでなく強いモチベーションにもつながりました。この経験で、一層研究や勉強に打ち込むことができ、とても良い刺激になっています。世界で活躍する教授や研究者の考え方、同世代が海外で努力している姿を直接知ることで、「自分もこうなりたい」という目標を現実として身近なものにできます。

そしてなにより、生命科学科の同期として勉強が大変でも、将来への不安があっても一緒に支え合って楽しめる友人の存在はかけがえのないものです。

こうした多くの出会いが、わたしにとって新しい経験の扉となり、刺激となり、頑張り続ける力になっています。その出会いを作ってくれたのが生命科学科だと思います。

最後に、このような貴重な機会をいただいたので受験生の皆さんへメッセージを送りたいと思います。今、私は生命科学科で学ぶ中で、多くの人との出会いや経験に恵まれ、自分でも想像していなかったことに挑戦することができています。その中で大切なのは、自分が本当にやりたいことを見つけることだと感じています。きっとそれが見つかれば、多少大変なことがあっても前に進む力になります。まずはいろいろなことに挑戦してみてください。その経験が、将来の可能性を広げてくれるはずです。いつかこの学科で、あるいはどこか別の場所で皆さんとお会いできる日を心から楽しみにしています。

3年　佐藤 樹

こんにちは。僕は生命科学科18期生、学部3年生の佐藤樹です。

生命科学科の特徴の一つは、基礎医学研究者を育成するための環境が充実していることだと思います。特に、将来研究者になることを見据えた活動を早くから行い、実践的な知識や技術を身につけられる環境は、生命科学科の大きな魅力です。一方で、受験生の皆さんにとっては『将来を見据えた活動』と言われても、どのようなことをするのかイメージしにくいかもしれません。そこで今回は、学部生である僕自身の活動経験を交えて、生命科学科について紹介したいと思います。

はじめに、九州大学医学部生命科学科では、ウォーミングアッププログラムという、主に低年次の学部生を対象に、年に複数回、研究現場での実践的な早期体験プログラムが開催されています。九州大学の低年次では専門的な研究活動に参加する機会は少ない傾向にありますが、このプログラムのおかげで、低年次から実践的かつ貴重な体験ができ、研究者としてのキャリアに早くから向き合うことができます。ウォーミングアッププログラムの内容も多彩で、自身の興味に合わせて参加することができます。特に、夏季の長期休業中の5日間、複数の研究室によって開催されるサマースクールは、最先端の研究テーマや機材を扱うことのできる、触発される内容になっています。僕自身、2年次にこのサマースクールに参加したのをきっかけに、お世話になった森下英晃教授の研究室に今年の春休み頃から通い始めました。（生命科学科は3年次の6月末から、研究室活動に取り組めるカリキュラムですが、このように先駆けて研究室活動に取り組むことも可能です。）

実際に研究室で活動に取り組んでいると、授業で学んだ知識が研究内容や実験手技と結びつく瞬間があります。このような実感は、座学だけでは得ることのできない、学部生のうちから研究室で活動する大きな魅力の一つだと感じています。知識を実際に活用する場があるからこそ、学ぶことの楽しさや理解の深まりを実感できます。まだ未熟な点も多くありますが、ご指導いただきながら、一つ一つの経験を大切にし、楽しみながら研究に取り組んでいます。

今回は、僕の活動を交えた紹介になりましたが、同期の友人たちにも早くからそれぞれの研究活動に取り組んでいる人が多く、互いに切磋琢磨し合い、将来の進路に進んでいます。最後になりますが、生命科学科は、基礎医学研究者育成についてはもちろん、学科内の交流が盛んで、独自の奨学制度が設けられている、大変充実した学科だと感じています。受験生の皆さん、この文章を最後まで読んでくださり、ありがとうございました。このメッセージが、みなさんの進路選択の参考になれば幸いです。受験勉強を頑張ってください。応援しています！

建 物 配 置 図　CAMPUS MAP

⑱ナイチンゲール誓詞の碑

⑩郭沫若先生顕彰碑

⑪ヒポクラテスの木

⑦釜掛の松

⑧長塚節逝去の地

⑨九大生協食堂

⑫医学図書館

⑬医学部正門

⑭医学部75周年記念庭園

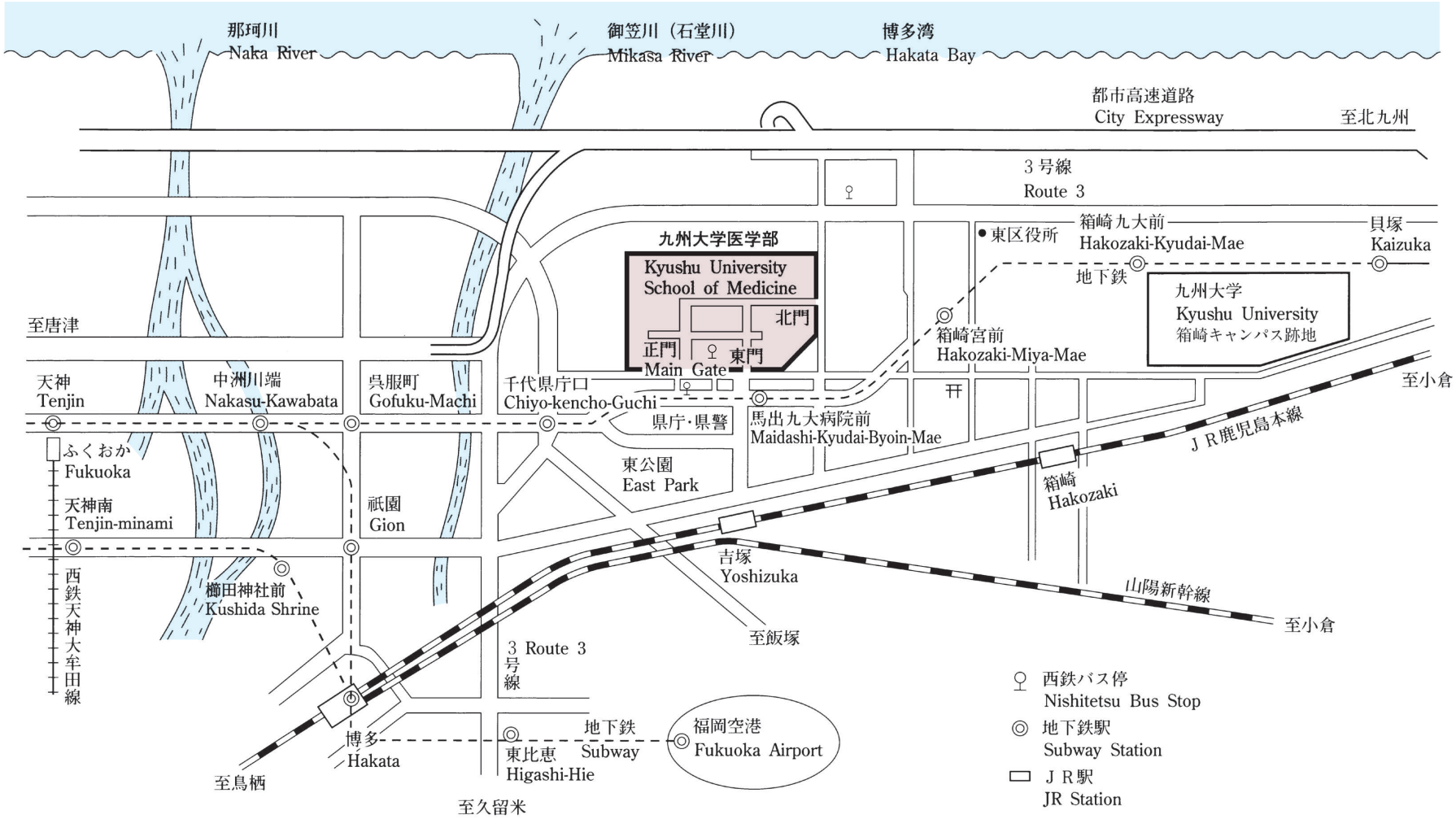
⑮神の手

⑰百年講堂

⑯慰霊塔「崇高な精神」

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科
〒812-8582 福岡市東区馬出３丁目１番１号 ☎092-642-6020 FAX. 092-642-6189
3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 http://www.med.kyushu-u.ac.jp/



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分
Subway service from Hakata Station to Maidashi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分
Nishitetsu bus service, No. 10 Kyudai-Mae' or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki', from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分
20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分
20 minute car ride from Fukuoka Interchange

Kyushu University
School of Medicine
Department of Biomedical Science

九州大学医学部生命科学科ホームページ
https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/

受験生向けサイト
https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/